

## 美術講座のご報告

ボッティチェリ

9月15日(土)、多摩美術大学教授 松浦弘明先生による第十四回「ルネサンス美術講座」が開かれました。—教皇シクストゥス4世とロレンツォ・デ・メディチとの関係—  
当時のフィレンツェは、教皇シクストゥス4世の教皇国側とメディチ家との争いの場になっていたという歴史から始まりました。

メディチ家側が残り、その頃描かれた3点は、メディチ家の人間がモデルになっています。



1475 ウフィツィ美術館



1475 ウフィツィ美術館



1478 ワシントン ナショナル・  
ギャラリー・オブ・アート

そしてその後、当時教皇が建造していた大聖堂（システィーナ礼拝堂）に、メディチ家がフィレンツェから画家を送り込んだと考えられ、「モーセの試練」は、教皇庁とフィレンツェ共和国の和解がテーマになっていて、1つの絵の中に7つの出来事が描かれ、モーセは7回登場していることなどご説明くださいました。



1481 システィーナ礼拝堂

なお、次回は、2019年の2月16日 14:00からです。  
ボッティチェリの3回目になります。